

上手に使おう 横浜の水  
～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～

令和2年度 横浜市水道事業会計及び工業用水道事業会計決算（速報値）の概要

※ この決算は、監査委員の審査を経て市会に上程され、認定を受けて確定します。

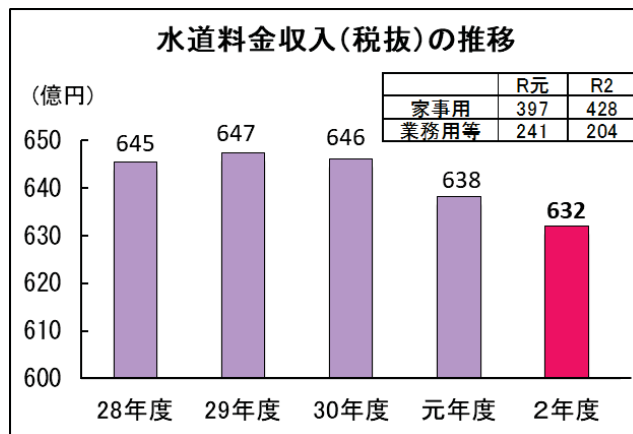
水道事業会計

# 水道料金収入は6億円の減、経常利益は41億円を確保

## （1）水道料金収入の減

2年度の水道料金収入は、元年度に比べ税抜で6億円減（△1%）の632億円となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響等による在宅勤務・テレワークの拡大や外出自粛要請などに伴い、家事用の水道料金は31億円増加（8%）した一方、商業施設など多量使用者の使用水量が減少したことなどにより業務用の水道料金は37億円減少（△15%）しました。



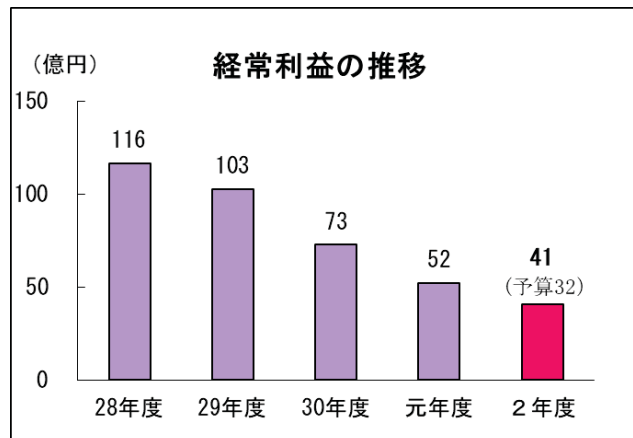
## （2）経常利益・純利益の確保

経常利益は、料金収入の減に加え、老朽管更新費用など修繕費が増加したこと等により、元年度に比べ11億円減の41億円となりました。

コロナ禍においても、持続可能な事業運営を行っていくため、徹底した事業見直しや不急事業の先送りなどに努めた結果、予算で見込んだ経常利益 32億円に比べ、9億円の改善となっています。

また、累積資金残額は、施設更新費用の増加に伴う資金収支の悪化により、前年度に比べ18億円減の174億円となりました。

※ 純利益は、局保有資産の売却益（新市庁舎移転に伴う本市一般会計との資産の相互所管替等）を計上したため、前年度に比べ13億円増の65億円となりました。



## （3）企業債の活用

今後、増大する施設更新費用の財源として、企業債の充当率を見直したことに伴い、企業債残高は前年度に比べ19億円増の1,543億円となりました。

《水道事業会計の収支状況(税抜)》 (単位: 億円)

	2年度	元年度	増△減
水道料金収入	632	638	△6
経常利益	41	52	△11
(純利益)	(65)	(52)	(13)
累積資金残額	174	192	△18
企業債残高	1,543	1,524	19

## 工業用水道事業会計

### (1) 工業用水道料金収入

2年度の工業用水道料金収入は、元年度に比べ税抜で0.9億円減の25.1億円となりました。

### (2) 経常利益・純利益の確保

経常利益・純利益は、元年度に比べ0.3億円減の7.1億円となりました。

### (3) 企業債の活用

企業債残高は、企業債発行額の割合を引き上げたことにより、前年度に比べ1.8億円増の29.0億円となりました。

《工業用水道事業会計の収支状況(税抜)》 (単位:億円)

	2年度	元年度	増△減
工業用水道料金収入	25.1	26.0	△0.9
経常利益	7.1	7.4	△0.3
(純利益)	(7.1)	(7.4)	(△0.3)
累積資金残額	42.1	42.4	△0.3
企業債残高	29.0	27.2	1.8

## (参考) 水道事業の主な取組

### 西谷浄水場の再整備

西谷浄水場は、ろ過池等の耐震化とともに、水源水質の悪化や水利権水量の全量処理に対応するため、浄水処理施設や排水処理施設の再整備に取り組んでいます。

また、西谷浄水場まで原水を送る相模湖系導水路についても、耐震性や導水能力が不足しているため、併せて改良に取り組めます。

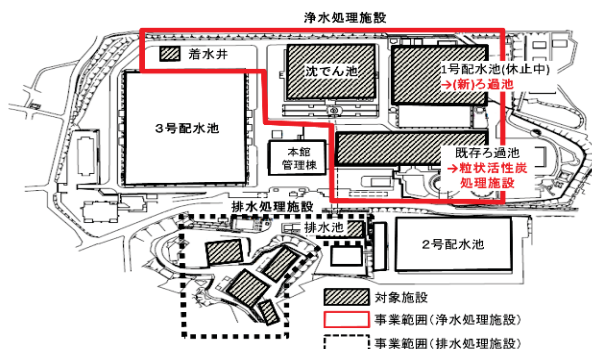
#### 予定スケジュール等

年度	整備手法	R2	R3	R4	～	R8	～	R22
浄水処理施設 (R4.2契約、R22完了)	DB	---	---	---	---	---	---	---
排水処理施設 (R3.7契約、R8完了)	DBO	---	---	---	---	---	---	---
相模湖系導水路 (R3.4契約、R8完了)	DB	---	---	---	---	---	---	---

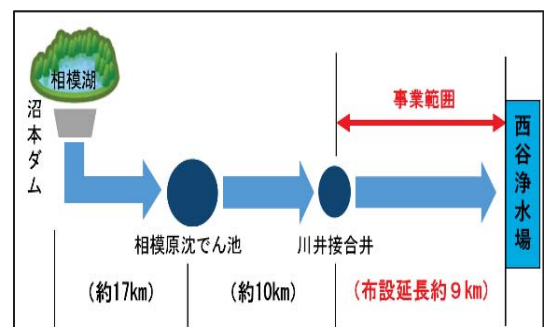
DB: 設計(Design)と施工(Build)を一括して行う発注方式  
DBO: 設計(Design)と施工(Build)に加えて、運営(Operate)も一括して行う発注方式

--- 契約手続    — 設計・工事

#### 【「西谷浄水場再整備事業」の整備範囲】



#### 【相模湖系導水路改良事業の範囲】



### お問合せ先

(水道事業会計に関すること) 水道局 経理課長	中林 都	TEL 045-671-3129
(工業用水道事業会計に関すること) 水道局 工業用水課長	大矢 雅幸	TEL 045-954-3331

# 令和2年度決算速報

横浜市水道事業会計

工業用水道事業会計

【資料編】

令和3年7月

横浜市水道局

# 目次

---

## 水道事業会計

- 1 水道料金収入の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1  
    有収水量と給水戸数、水道料金収入の状況
- 2 企業債残高の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1  
    企業債残高の推移
- 3 関連資料    水道事業会計 決算概要表・・・・・・・・・・ 2  
                    損益計算書・・・・・・・・・・ 3  
                    貸借対照表・・・・・・・・・・ 3

## 工業用水道事業会計

- 4 関連資料    工業用水道事業会計 決算概要表・・・・・・・・ 4  
                    損益計算書・・・・・・・・ 5  
                    貸借対照表・・・・・・・・ 5

## 1 水道料金収入の状況

《有収水量と給水戸数、水道料金収入の状況》

	2年度 ①	元年度 ②	増減①-②	増減率(%)
有収水量(m <sup>3</sup> )	384,762,936	377,460,608	7,302,328	1.93
給水戸数(戸)	1,907,706	1,893,132	14,574	0.77
水道料金収入(百万円)	63,203	63,833	△630	△1.0

※有収水量は水道料金収入の対象となった水量です。

※給水戸数及び使用水量は前年度と比較して増加しているものの、商業施設など多量使用者の使用水量が減少したため、水道料金収入は減少しています。

## 2 企業債残高の状況

《企業債残高の推移》

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
企業債残高 (億円)	1,842	1,775	1,737	1,685	1,645	1,607	1,562	1,539	1,524	1,543
水道料金収入に対する 企業債残高の割合	2.70倍	2.63倍	2.59倍	2.58倍	2.53倍	2.49倍	2.41倍	2.38倍	2.39倍	2.44倍

令和2年度水道事業会計決算概要表（対前年度比較：税抜）

（単位：百万円，％）

区 分		令和2年度決算額		令和元年度決算額		増 減		
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	伸 び 率	
収 入	水道料金	63,203	78.1	63,833	80.4	△630	△1.0	
	水道利用加入金	1,265	1.6	1,586	2.0	△321	△20.2	
	他会計繰入金	5,307	6.6	4,985	6.3	322	6.5	
	浄水受託収益	1,574	1.9	1,568	2.0	6	0.3	
	その他の	2,004	2.5	2,222	2.8	△218	△9.8	
	長期前受金戻入	5,072	6.3	5,170	6.5	△98	△1.9	
	特別利益	2,456	3.0	32	0.0	2,424	7,517.0	
	計	80,881	100.0	79,396	100.0	1,485	1.9	
	的 支 出	人件費	11,408	15.3	11,489	15.5	△81	△0.7
		物件費等	22,228	29.9	21,536	29.0	692	3.2
		動力費	1,786	2.4	1,917	2.6	△131	△6.8
		薬品費	490	0.7	548	0.7	△58	△10.6
		修繕費等	10,270	13.8	9,349	12.6	921	9.8
		委託料	6,450	8.7	6,313	8.5	137	2.2
その他の		3,232	4.3	3,409	4.6	△177	△5.2	
企業団受水費		15,232	20.5	15,334	20.7	△102	△0.7	
企業団補助金		0	0.0	1	0.0	△1	△100.0	
減価償却費等		23,167	31.2	23,207	31.3	△40	△0.2	
支払利息等	2,338	3.1	2,604	3.5	△266	△10.2		
計	74,372	100.0	74,171	100.0	201	0.3		
純 損 益	6,508	—	5,226	—	1,282	24.5		
（ 経 常 利 益 ）	(4,052)	—	(5,193)	—	(△1,141)	△22.0		
資 本 的 収 入	企業債	14,442	90.1	11,332	87.3	3,110	27.4	
	一般会計出資金	233	1.4	610	4.7	△377	△61.8	
	工事負担金等	942	5.9	929	7.2	13	1.5	
	国庫補助金等	275	1.7	72	0.6	203	281.4	
	その他の	145	0.9	33	0.2	112	339.4	
	計	16,037	100.0	12,976	100.0	3,061	23.6	
	的 支 出	建設改良費	30,042	70.5	23,580	64.5	6,462	27.4
		基幹施設整備事業費	5,540	13.0	5,335	14.6	205	3.8
		配水管整備事業費	18,002	42.2	16,957	46.4	1,045	6.2
		その他建設改良費	6,498	15.2	1,274	3.5	5,224	410.0
控除対象外消費税額		2	0.0	14	0.0	△12	△83.2	
企業債償還金		12,569	29.5	12,865	35.2	△296	△2.3	
投資	11	0.0	114	0.3	△103	△90.6		
計	42,621	100.0	36,559	100.0	6,062	16.6		
資本的収支差引	△26,584	—	△23,584	—	△3,001	△12.7		
リース取引に係る控除消費税	24	—	13	—	11	—		
資本的収支差引再計	△26,560	—	△23,571	—	△2,990	—		
資 金 収 支	純 損 益	6,508	—	5,226	—	1,282	—	
	当年度分損益勘定留保資金	18,919	—	18,820	—	99	—	
	資本的収支差引再計	△26,560	—	△23,571	—	△2,990	—	
	退職手当支給額	△1,019	—	△741	—	△278	—	
	前年度からの繰越資金	2,605	—	2,251	—	354	—	
	翌年度への繰越資金	△2,245	—	△2,605	—	360	—	
計（当年度資金収支）	△1,792	—	△619	—	△1,173	—		
総 差 引	△1,792	—	△619	—	△1,173	—		
前年度末資金残額	19,163	—	19,782	—	△619	—		
累 積 資 金 残 額	17,371	—	19,163	—	△1,792	—		

（※）金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。構成比は円単位で計算しています。

## 関連資料

### 令和2年度横浜市水道事業損益計算書（要旨）

（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

（単位 百万円）

1	営業収益	71,551	
	うち水道料金収入	(63,203)	
2	営業費用	<u>71,906</u>	
	<b>営業損失</b>		<b>356</b>
3	営業外収益	6,874	
4	営業外費用	<u>2,466</u>	<u>4,408</u>
	<b>経常利益</b>		<b>4,052</b>
5	特別利益	<u>2,456</u>	
	<b>当年度純利益</b>		<b>6,508</b>
	前年度繰越利益剰余金		0
	その他未処分利益剰余金変動額		<u>8,301</u>
	当年度未処分利益剰余金		<u><u>14,809</u></u>

### 令和2年度横浜市水道事業貸借対照表（要旨）

（令和3年3月31日）

（単位 百万円）

科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産	603,942	1 固定負債	165,294
(1)有形固定資産	515,728	2 流動負債	39,886
(2)無形固定資産	11,338	3 繰延収益	76,131
(3)投資その他の資産	76,876		
2 流動資産	46,128	負債合計	281,310
		1 資本金	340,723
		2 剰余金	28,037
		(1)資本剰余金	2,365
		(2)利益剰余金	25,672
		うち当年度未処分利益剰余金	14,809
		資本合計	368,760
資産合計	650,070	負債・資本合計	650,070

※金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。

したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。

## 関連資料

## 令和2年度工業用水道事業会計決算概要表（対前年度比較：税抜）

（単位：百万円，％）

区 分		令和2年度決算額		令和元年度決算額		増 △ 減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率	
収 入	工業用水道料金	2,515	92.0	2,604	92.4	△89	△3.4	
	長期前受金戻入	194	7.1	195	6.9	△1	△0.8	
	その他	26	0.9	19	0.7	7	32.5	
	計	2,734	100.0	2,819	100.0	△85	△3.0	
	支 出	人件費	238	11.7	222	10.7	16	7.0
		物件費等	914	45.2	966	46.3	△52	△5.3
		負担金	872	43.1	905	43.4	△33	△3.6
		修繕費等	2	0.1	24	1.1	△22	△93.5
		その他	41	2.0	37	1.8	4	10.1
		減価償却費等	830	41.0	849	40.8	△19	△2.2
支 払	支払利息等	41	2.1	47	2.2	△6	△11.1	
	計	2,024	100.0	2,084	100.0	△60	△2.9	
純 損 益		710	—	735	—	△25	△3.4	
資 本 的 収 入	企業債	440	79.4	218	58.9	222	101.8	
	国庫補助金	114	20.6	95	25.7	19	19.7	
	工事負担金等	0	0.0	57	15.4	△57	△100.0	
	計	554	100.0	370	100.0	184	49.7	
	支 出	建設改良費	1,537	85.5	1,861	87.9	△324	△17.4
		工業用水道施設整備事業費	1,469	81.7	1,602	75.7	△133	△8.3
		その他建設改良費	68	3.8	259	12.2	△191	△73.8
		企業債償還金	261	14.5	257	12.1	4	1.7
	計	1,798	100.0	2,118	100.0	△320	△15.1	
	資本的収支差引		△1,244	—	△1,748	—	504	28.8
資 金 収 支	純 損 益	710	—	735	—	△25	—	
	当年度分損益勘定留保資金	664	—	667	—	△3	—	
	資本的収支差引再計	△1,244	—	△1,748	—	504	—	
	前年度からの繰越資金	258	—	459	—	△201	—	
	翌年度への繰越資金	△398	—	△258	—	△140	—	
	その他	△20	—	△14	—	△6	—	
	計（当年度資金収支）	△29	—	△160	—	131	—	
前年度末資金残額		4,235	—	4,395	—	△160	—	
累 積 資 金 残 額		4,206	—	4,235	—	△29	—	

（※）金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。構成比は円単位で計算しています。



## 関連資料

### 令和2年度横浜市工業用水道事業損益計算書 (要旨)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位 百万円)

1	営業収益	2,515	
	うち 工業用水道料金収入	(2,515)	
2	営業費用	1,982	
	<b>営業利益</b>		<b>533</b>
3	営業外収益	219	
4	営業外費用	41	177
	<b>経常利益</b>		<b>710</b>
	<b>当年度純利益</b>		<b>710</b>
	前年度繰越利益剰余金		0
	その他未処分利益剰余金変動額		739
	当年度未処分利益剰余金		1,450

### 令和2年度横浜市工業用水道事業貸借対照表 (要旨)

(令和3年3月31日)

(単位 百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産	20,929	1 固定負債	2,939
(1)有形固定資産	20,912	2 流動負債	1,420
(2)無形固定資産	16	3 繰延収益	4,168
(3)投資その他の資産	1		
2 流動資産	5,778	負債合計	8,526
		1 資本金	13,095
		2 剰余金	5,086
		(1)資本剰余金	140
		(2)利益剰余金	4,946
		うち当年度未処分利益剰余金	1,450
		資本合計	18,181
資産合計	26,707	負債・資本合計	26,707

※金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。

したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。